

# H形踏切制御子制御区間長測定装置

## LCM-1903

踏切保安装置の制御区間長を測定する制御区間長測定装置です。

踏切保安装置の警報音および遮断器を作動させることなく踏切制御子の制御区間測定が可能のため、近隣住民への配慮、および監視要員の削減が可能です。

### ■ 特 長

- 踏切が鳴動することがありませんので、踏切監視が不要で1人で制御区間長を測定できます。
- 測定はリレーの動作復旧を伴わないH形踏切制御子の周波数のみ瞬時短絡で行います。
- MTD軌道回路(675Hz)より低い周波数の軌道回路では、レール間短絡しません。
- 装置は踏切制御子に接続する測定部と左右レール上に設置する短絡部があります。
- 測定部と短絡部の通信は、特定小電力無線(20mW以下)で行います。
- 測定は、測定部と短絡部の両方で行え、それぞれで結果表示が可能です。
- 制御区間長は、左右レール上に設置した短絡部を転がして距離を自動で測定します。
- 電源は、測定部および短絡部とも単三電池4本使用します。
- 短絡部は、折りたたんで収容できます。



## ■ 主な仕様

適用範囲	踏切制御子 HC 形、HO 形
電源	測定部 単 3 電池 4 本 短絡部 単 3 電池 4 本
消費電流	120mA 以下
表示	レール電圧 0.0~9.9(V):リレー電圧 0.0~28.0(V):レール距離 0.0~99.9(m) 制御長:範囲内、範囲外
使用環境	温度-20~50℃、湿度 100%(雨天時はビニールカバー使用)
寸法	測定部:縦約 110mm×横約 220mm×高さ約 50mm 短絡部:幅約 1200mm×高さ約 870mm(折畳時:幅約 340mm×高さ約 800mm)
重量	測定部:約 1kg 短絡部:約 7kg

### 使用方法

1. 測定部のリレー測定端子を踏切制御子端子台のリレー端子に接続します。



2. 測定部、短絡部の電源を入れます。  
測定部では HC 形と HO 形を自動で判別します。
3. 短絡部を左右レール踏面に設置します。  
短絡部では HC 形と HO 形を自動で判別します。
4. 測定部、短絡部で判別した H 形踏切制御子種別(HC 形、HO 形)の一致を確認します。
5. 測定部又は短絡部の距離クリアボタンを押して距離を 0m にします。
6. 測定ボタンで検知範囲内、検知範囲外を画面上に表示し、操作は測定部、短絡部で行えます。
7. 短絡部をレールの上を転がして移動し検知範囲内外と移動距離の測定表示が行えます。

製品の仕様は予告なく変更される場合があります。